

令和 5 年 7 月 4 日
国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所
茨 城 県
土 浦 市

「大規模地震への備えと首都直下地震での茨城県の役割」をテーマに シンポジウムを開催します ～来たるべき大規模地震に備えて～

今年は、1923 年 9 月 1 日に発生した関東大震災から 100 年を迎える節目の年であるため、関東地方整備局では、関係機関と連携し、各地域でリレーシンポジウム等の取り組みを実施しています。

国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所、茨城県及び土浦市は、大規模地震を想定した備えの重要性や首都直下地震発生時の茨城の役割（応援・受援）をテーマにしたシンポジウムを開催します。

1. 日 時：令和 5 年 7 月 28 日（金） 13 時 30 分～16 時 00 分（13 時開場）
2. 会 場：クラフトシビックホール土浦小ホール（土浦市東真鍋町 2 番 6 号）
3. 内 容：基調講演、パネルディスカッション
4. 参加方法：事前申込み制（定員 250 名）※参加費は無料です
5. そ の 他：取材を希望される報道機関の方は、7 月 14 日までに下記へご連絡をお願い致します。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所

電話：029-240-4061（代表） メールアドレス：ktr-hitachikouhou@mlit.go.jp

副所長（技） 石崎 睦（いしざき むつみ）（内線：205）

計画課長 須藤 勝（すどう まさる）（内線：261）

(参考) 関東地方整備局の関東大震災 100 年の取り組み「連携・実践・わがこと化」について

首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、今年は関東大震災 100 年にあたります。

首都直下地震で大きな被害が発生する地域を所管し、自らも道路、港湾、河川等のインフラを管理する関東地方整備局として、地域全体での対応力を強化するため、関係機関との連携を強化し、より実践的な応急対応を目指して訓練を行うとともに、それぞれが主体的に対応することの必要性・重要性を広く関東地域にお住まいの皆さんや関係する方々に訴えることを目的に、一連の取組を実施していきます。

1. リレーシンポジウム ～関係機関が連携し、各地域で開催～

1 月 16 日 (月) 東京都 (実施済)
6 月 26 日 (月) 千葉県 (実施済)
7 月 10 日 (月) 埼玉県
7 月 21 日 (金) 山梨県
7 月 27 日 (木) 栃木県、神奈川県
7 月 28 日 (金) 茨城県
8 月 17 日 (木) 群馬県

(パネル展)

7 月 26 日 (水) ～7 月 27 日 (木) 長野県 (会場 1)
7 月 29 日 (土) ～7 月 30 日 (日) 長野県 (会場 2)

2. 関東大震災 100 年シンポジウム～フィナーレとして～

8 月 28 日 (月) 主催：国土交通省
8 月 26 日 (土) ～8 月 28 日 (月) 関東大震災特別企画展

3. 首都直下地震対応訓練 ～実践的な訓練を実施～

8 月 道路啓開訓練、緊急支援物資水上輸送訓練 等

4. 関東大震災ゆかりの地を巡るツアー ～切迫する首都直下地震をわがことととらえる～

7 月 22 日 (土)、23 日 (日) 国土交通省、国土地理院

「関東大震災 100 年の取組」の詳細はこちらから

<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index00000005.html>



常陸河川国道事務所 ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>

Twitter 情報 https://twitter.com/mlit_hitachi



ホームページ



Twitter

関東大震災100年 リレーシンポジウム茨城 ～来たるべき大規模地震に備えて～



土浦市上空から筑波山方面を望む



津波で被害を受けた住宅地
2011年3月(北茨城市)



崖が崩れ、土砂の下敷きになった車
2011年3月(水戸市)



久慈川に崩れ落ちた水郡線の鉄橋
2019年10月(大子町)

7月28日

金

13:30～16:00(予定)

会場

クラフトシビックホール土浦

[小ホール]——土浦市東真鍋町2-6

主催/国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所

共催/茨城新聞社

後援/茨城県、土浦市、茨城県市長会、茨城県町村会、

茨城県建設業協会、茨城放送、NHK水戸放送局

第1部 基調講演

[テーマ] 南関東地域で想定される
M7及びM8クラスの地震について
藤原 広行(防災科学技術研究所マルチハザードリスク評価研究部門長)

第2部 パネルディスカッション

[テーマ] 大規模地震への備えと
首都直下地震での茨城の役割

コーディネーター 藤原 広行
(防災科学技術研究所マルチハザードリスク評価研究部門長)

パネリスト 田村 央(茨城県土木部長)
安藤 真理子(土浦市長)
遠藤 彰(土浦協同病院救命救急センター長)
佐近 裕之(関東地方整備局常陸河川国道事務所長)

関東大震災100年 リレーシンポジウム茨城

～来たるべき大規模地震に備えて～

今年は関東大震災から100年の節目にあたります。1923(大正12)年9月1日に発生した関東大地震はM7.9と推定され、近代化した首都圏を襲った巨大地震であり、南関東を中心に大きな被害が発生しました。首都直下地震の発生が指摘されていますが、いつどこで発生するかは予測が付きません。実際に首都直下地震が発生した場合、その被害はどのくらいのものになるのか。茨城県内の被害はどのくらいなのか。私たちはどのような対策をとるべきなのか。専門家の意見を聞き、みんなで話し合っていきます。

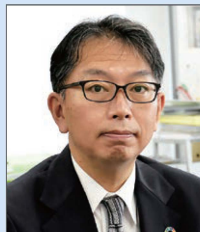
基調講演・ パネルディスカッションコーディネーター



藤原 広行(ふじわら ひろゆき)
防災科学技術研究所
マルチハザードリスク評価研究部門長

京都大学大学院理学研究科中退 博士(理学)。
1989年科学技術庁国立防災科学技術センター
(現:防災科学技術研究所)入所。全国強震観測
網K-NETの整備、全国地震動予測地図の作成、
リアルタイム地震被害推定システムの開発など
に従事。2019年より現職。

パネリスト



田村 央(たむら ひさし)
茨城県土木部長

兵庫県出身。東京大学大学院修士課程修了。
1996年建設省入省。国土交通省道路局企画課
道路経済調査室長、県都市局長を経て、2022年4
月より現職。



安藤 真理子(あんどう まりこ)
土浦市長

土浦市出身。成城大学短期大学部卒業。
土浦市議当選2回、県議当選2回。2019年より
現職。



遠藤 彰(えんどう あきら)
総合病院土浦協同病院
救命救急センター長

主な専門領域/救急医学、救急外科、集中治療
医学、病院前救急医療。
山梨医科大学医学部卒業。東京医科歯科大学
医歯学総合研究科 救急災害医学分野 博士課
程修了。博士(医学)。2022年4月より現職。



佐近 裕之(さこん ひろゆき)
関東地方整備局常陸河川国道事務所長

奈良県出身。大阪大学大学院修士課程修了。
1992年建設省入省。中国地方整備局河川部長、
一般財団法人河川情報センター企画・調整部長
を経て2023年7月より現職。



[会場ご案内] クラフトシビックホール土浦【小ホール】

●車ご利用の場合

旧6号国道(現国道125号、354号線)市民会館入口信号より、霞ヶ浦方面へ
常磐自動車道ご利用の際は、土浦北インターより霞ヶ浦方面へ約10分

●バス利用の場合

JR土浦駅西口バスターミナル4番乗り場から(所要時間7~10分)
関鉄路線バス:協同病院行き 真鍋新町下車 徒歩10分

参加申し込み書

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、FAXにてお申し
込みください。切り取らずにこのまま送信してください。
※茨城新聞ホームページからも申し込みできます。
<https://club.ibarakinews.jp/kanto100/>
スマートフォンからは右記QRコードをご利用ください。



みなさまからご提供いただいた個人情報は、参加券送付のために使用し、他の目的で使用することはありません。

FAX 029-301-0361

申込締切/令和5年7月14日(金)
参加人数/先着250人(参加無料)

氏名 (フリガナ)	年齢	歳	参加希望人数	名
住所	TEL	()	-	
	勤務先			

問い合わせ先 茨城新聞社水戸支社 TEL:029-239-3010(平日9:00~17:00)